

氏名（カナ氏名）	小原 隆治 （コハラ タカハル）	
主な担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方自治専門研究セミナー ・ 地方自治 	
専門分野	地方自治	
略歴および現在の活動(社会的活動等含む)	<p>1982年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1990年同大学院政治学研究科博士課程単位取得退学。成蹊大学法学部専任講師、助教授、教授を経て、2010年から現職。各種の自治体審議会委員、全国町村会・全国町村議会議長会研究会委員、日本行政学会・日本地方自治学会理事などを歴任または現任。</p>	
主な著書・論文、その他学生に読んでもらいたい本	<p>編著『これでいいのか平成の大合併』（コモンズ、2003年）、共編『震災後の自治体ガバナンス』（東洋経済新報社、2015年。共編者は稲継裕昭教授）、『新しい公共と自治の現場』（コモンズ、2011年）、『平成大合併と広域連合』（公人社、2007年）、共著『市町村合併による防災力空洞化』（ミネルヴァ書房、2013年）、『アクセス デモクラシー論』（日本経済評論社、2012年）、『公共性の政治理論』（ナカニシヤ出版、2010年）など。</p> <p>在学中、学生にぜひ読んでほしい本を1冊あげよといわれたら、A.O.ハーシュマン（矢野修一訳）『離脱・発言・忠誠』（ミネルヴァ書房、2005年）。</p>	
就職、その他キャリア形成に関してのアドバイス／手伝えること	<p>豊島区、武蔵野市ほかの個別の自治体や、全国町村会、全国町村議会議長会、全日本自治団体労働組合などとの仕事上の接点を通じ、地方公務員の職場の様子をいくらか垣間見ているので、それに関連したご相談なら多少は乗れるかと思えます。</p>	